

在留外国人の支援を広めるために

3年3組15番 大呉ひなた

3年3組18番 筒井映晴

Keyword: 「在留外国人」「奈良県」「在留外国人支援団体」「ポスター制作」
「多文化理解」

1. はじめに

私たちが在留外国人の支援について探究しようと思ったきっかけは、2人とも国際高校に通う中で、留学生やネイティブの先生方と関わるが増え、日本で暮らす外国人について興味をもつようになったからである。高一の時に世界の言語の先生方の話を聞く機会があり、彼らが日本での生活で困っていることを知った。身近な人が不便を感じていることに気づき、自分達にできることを見つけて実行することで少しでも力になりたいと思いこのテーマで探究を進めている。日本で暮らす上での困りごとを解消するために私たちは、より多くの在留外国人の方に支援団体を知ってもらい利用する機会を増やすためにポスター制作や知識を深めようと活動を始めた。

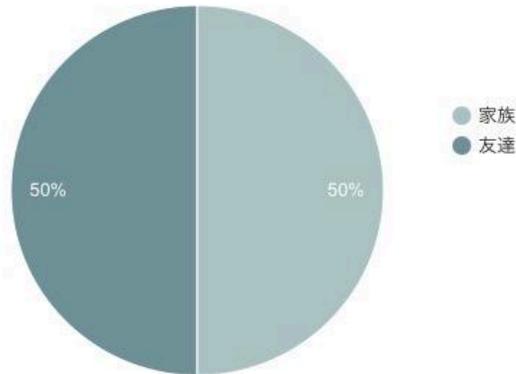
2. 序論

「在留外国人とは法務省により、「中長期在留者」と「特別永住者」と定義されている。簡単に言うと、「観光客などの3ヶ月以内の短期滞在者を除く外国人」ということになる」(浅井秀樹,n.d.)日本全体での在留外国人数は2024(令和6)年6月末時点で358万8956人で過去最高を更新したと出入国在留管理庁が発表している。奈良県では、1994(平成6)年12月末には10,174人であったが、2023(令和5)年12月末には17,614人となり、大幅な増加が見られる。在留外国人が増える中で、日本での生活においてさまざまな困りごとが生じていることが分かった。例えば仕事関係や行政の手続きなどの業務上の手続きや外部のどこに相談すべきかが分からないことなどが挙げられる。また、友人や家族に相談する件数は多いものの、支援団体に相談する件数は少ないことも明らかになった。そこで私たちは、支援団体の利用が広がれば、より気軽に相談でき、困っている在留外国人を一人でも多く支援できるのではないかと考えた。悩みや困り事を相談したり解決することが出来れば、在留外国人の方がより快適な生活をおくること出来るのではないかと思ひ、どうしたら日本で安心して暮らせるのかという問いを解決することにした。そこで私達が考えたことは、在留外国人の知識を学び、身近な支援団体を広めることである。まず高校生ができることとしてポスター制作や知識を深めることでもっと周りに広げていこうと考えた。

3. 本論

まず、自分達の在留外国人に対しての知識を深めるために、在留外国人を支援する団体NPO法人外国人在留支援コンソーシアムとFRESCに問い合わせ支援方法や相談内容や在留外国人について理解を深めた。しかし、自分達が在留外国人に対しての知識が不足していると知り、再び在留外国人数や日本に来る目的などの情報収集を始めた。それと同時に、国際高校にいるALTの先生方に奈良県にある在留外国人支援団体の存在や日本での相談相手についてのアンケートを行った。

日本の生活で困った時に誰に相談しますか？



アンケート結果より家族と友達がそれぞれ50%となっており、困ったときの相談相手がすべて身近な人に限られていることがわかる。つまり、支援団体を利用している回答者はいなかった。奈良に在留外国人支援団体があるにも関わらず、利用している人がいないということが分かる。やはり友人や家族の方が話しやすく身近に感じるのではないかと考えた。その結果、私達は奈良にある在留外国人支援団体【奈良県外国人支援センター】の取り組みを多くの人に知ってもらい、活用して欲しいと思い活動することにした。

そこで考えたのが、在留外国人支援団体の取り組みや情報を多く掲載したポスター制作である。ポスターを作成し提示することで目に入りやすく、印象に残りやすいと考えた。私達は日本語版と英語版のポスターを作成し、日本語が分からない人でも情報が分かるようにした。奈良県外国人支援センターの方々と協力し、見やすく分かりやすいポスターを完成させた。このポスターは奈良県外国人支援センターに掲載させていただき、全体的な反響は把握できなかったが、友人から利用したいという声やこの支援団体の存在を知ってもらうきっかけになった。

Help Desk for Foreigners

Free consultation!!

Target users: Foreigners living in Nara Prefecture, and people and organizations that support foreigners

Services we provide

- Foreigners in Nara can get advice on daily life.
- People and organizations that support foreigners can provide advice on issues related to foreigners.
- Support to connect you to the appropriate specialist institution as needed.

Please check the prefecture's website for the latest information.

2nd Floor, Silkia Nara, 8-1 Sanjo Hommachi, Nara City, Nara, Japan
call 0742-81-3420

Help Desk for Foreigners

相談無料!!

窓口・電話・FAX・メール・オンラインで相談できます。

◎ 月～金・日曜 9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)
相談できる言語
日本語：月～金・日
英語：火
ベトナム語：水
中国語：木

☎電話通訳サービスを利用した対応可能言語：
韓国語、ポルトガル語、タガログ語（フィリピン語）、インドネシア語、タイ語、ネパール語、スペイン語、ミャンマー語

対象者：奈良県在住外国人、外国人を支援している方や団体

どんな取り組みをしているの！？

- 奈良県に住んでいる外国人の皆さんが、悩みや生活の相談ができる！
- 外国人を支援している人や団体などが、外国人に関する問題について相談できる
- 必要に応じて適切な専門機関へつなぐサポートをしている

※最新情報は県のHPをご確認ください。

住所 奈良市三条本町9-1シルキア 奈良2階
電話 0742-81-3420

[英語版]

[日本語版]

4. 結論

以上の活動から在留外国人支援団をより多くの人に知ってもらうために高校生の私達ができる事として、ミーティングやメールのやり取りを通して知識を深め、ポスター制作をすることができた。これから在留外国人が増えると共に日本での生活の困り事も増える可能性がある中で、支援団体を活用することでより日本で生活しやすくなるを考える。今後は在留外国人支援団体の取り組みを広めるだけでなく、私達が実際に在留外国人の方との交流を深め、直接支援に関わっていけるようにしたい。

5. おわりに

私達は探究活動を通して、まず人との関わり方について学んだ。自分達が興味を持った分野を広げるために、知らない団体とのミーティングやメールのやり取り、ポスター制作に向けての協議を重ねたことで自分達で行動する力を蓄えられた。

また、知らないことをもっと知ろうという積極性や新たな問題や発見を見つけることもできた。困っている人がいたら今できることを考え手を差し伸べる大切さも学んだ。これからの生き方としても、探究で得た学びを生かし、他者と協力しながら誰にとってもより良い社会を作るために、自分に出来ることを考えてさらに行動していきたいと思う。

6. 参考文献・出典

奈良県 国際課「多文化共生に関する奈良県の現状」『奈良県多文化共生推進プラン』,2-55,
<https://www.pref.nara.jp/secure/320153/2.tabunkakyouseinikansurunarakennogennjou.pdf>
確認日 2025年 6月

浅井秀樹「外国人住民と共に」
<https://asaihideki.com/immigrantinfo/immigrants/>
確認日 2025年 6月